

瑞穂市立本田小学校 卒業式 お祝いのことば

桜の花も開花を迎える今日の佳き日に、本田小学校卒業証書授与式が挙行されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

卒業生105名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、入学して早6年の月日が経ちました。お子さんは、たくましく、そして大きく立派に成長しました。その思いもひとしおと存じます。心からお慶びを申し上げますとともに、ご卒業、誠におめでとうございます。

土川校長先生はじめ、教職員の先生、5類感染症に移行したとはいえ、コロナウイルス感染症のなか、今日までのご指導にお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、小学校生活をふり返ると、3年生になったころからコロナウイルス感染症で、学校生活や学校行事において中止や延期を余儀なくされ、学習スタイルなどすべてにおいて大きな影響を受けてしまいましたが、学年のテーマ「共に生きる」を胸に、いっそう団結力を高めて取り組んでくれました。

車椅子体験をはじめ、視覚や聴覚に障がいのあるパラリンピックのアスリートを招いた体験活動など、「共生社会の学習」を積極的に取り組んでくれましたと校長先生から聞いています。

今日の皆さんの姿も、卒業式を「自分の気持ちが伝わる返事をしたい。」「成長した姿を見てもらいたい。」そんな意気込みが私にとっても伝わりました。

先日、本田小学校にも届きましたが、全国に2万2000校にグローブを贈った大谷翔平選手のことを、今日の卒業式で皆さんにお話しします。

大谷選手は、小学校2年生から野球を始め、その頃から今でも大切にしている3つのことがあります。それは、「声を出し元気よくプレーすること＝チームワーク（連携）」「キャッチボールを一生懸命にやる＝自分の狙うところに投げるコントロールを身につける」「一生懸命に走る＝走ることは基本そして盗塁」、このように目的をもって取り組んできました。高校1年生からは、自分の目標に達成するために、目標達成シートをつくりました。シートは、縦に9コマ、横に9コマで、計81マスからなり、真ん中に「大きな夢」を書きあげ、その周囲に夢を

達成するための目標を8つ記入し、さらに具体的な目標を書きあげ、やるべきことを明確にしました。

私は、皆さんに「自分の夢を描くチカラ」を身につけてもらいたいと思います。そして、具体的に実現し達成してもらいたいと思います。そのためには、その「夢を描くチカラ」を養ってもらいたいと思います。

力を養うことのひとつに読書があると思います。「瑞穂市は読書のまち」です。自分の好きな本、関心がある本を読むことで、夢を描くチカラがつくと私は考えています。

私は卒業生の皆さんには、郷土を愛する心を身につけ、励ましてもらった多くの人々の支えに感謝し、自らの夢を実現してもらいたいと思っています。

皆さんは、これから中学校に進み、自分の夢にまた一步近づくことになります。夢を大切に、私はいつまでも皆さんを応援しています。皆さんの輝かしい前途に幸多からんことをご祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

令和6年3月25日

瑞穂市長 森 和 之